

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 大山捕獲隊	代表者名	理事長 西牧正美
事業名	篠山発・特定外来生物モニタリング調査事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2017 年度通年	特定外来生物・アライグマの捕獲に向けて、地域情報に基づいてモニタリングを実施して捕獲を推進しました。
2017 年度隔月 (不定期)	被害発生地域において、カメラ等設置のモニタリングについてミニ講習会を開催しました。これは、いたずらや盗難や損傷から機材（カメラ等）を護ることにもつながり、地域の関心を上げることにもなりました。
2017 年度毎月	毎月 10 日にあわせて、「月刊捕獲情報」を発行しました。これは篠山市本庁＋5 支所＋市民センターと協働自治会の住民に向けて、その月々にあった捕獲情報やトピックを A3・A4 にまとめて配布・掲示して、捕獲活動の実態を周知しました。

<効果と成果>

アライグマは日本の野山に放たれて（1962 年愛知県犬山市で脱走）して 56 年の歳月が経ち、それから 43 年（2005 年）経って特定外来生物に指定された動物です。旺盛な繁殖力と天敵がない日本の原野で、とんでもない数に増え続けております。今では生活地域に居着く個体もあり、收拾がつかなくなっている動物と言っても過言ではありません。個体に付着して来るマダニによるウイルス（SFTS）などの感染も伝えられ、天敵は人間と云うこととなります。

まず、「自助・共助」から始めて、「駆除&捕獲」の言葉通り地域で計画を立てて捕り続ける以外に減らす方法はありません。その内に駆除不可動物になってしまうアライグマ。そんな獣害に関心を持っていただき、捕獲圧を高めるのが有効な第一歩となります。「安心と安全を人任せにしない」を合言葉に。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
NPO大山捕獲隊 会費	28,000
雑収入	177,190
合 計	705,190

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直 接 経 費	指導謝金・旅費	16,000	8,000
	旅費 (普通旅費)	48,190	30,000
	旅費 (実施弁済)	29,059	20,000
	その他 (地域講習会等)	607,041	442,000
	小 計	700,290	500,000
間接経費 (一般管理費)		4,900	0
	合 計	705,190	500,000